

一人ひとりが心豊かに
生きがいのある人生を
送れるように支援します

生涯学習だより

平成19年度市民人権講座開催

子どもを取り巻く育成環境と人権について
去る2月13日から隔週水曜日、4回にわたり市民人権講座を開催しました。



第1回目は、早稲田大学の喜多明人教授に、「子どもとおとなのいい関係を創る」子ども支援学入門」と題し、次代を担う子どもたちが、社会に主体的に参画していく市民となるためには、大人が子ども

もと指導関係ではなく支援関係を築き、子どもの目線に立つて、子どもの自己肯定感を育てることの大切さについてお話をいただきました。



(喜多明人教授)

第2回目は、日本冒険遊び場づくり協会理事天野秀昭氏に「子どもとあそび」「遊び育」についてと題し、子どもが生まれもっている「遊び」によって自らの能力を獲得していく権利を学校や地域全体で認め、現在の育成環境を見直すことの必要性について講義をいただきました。また、第3回目では下都賀教育事務所社会教育主事柴崎智先生に差別が生まれるプロセスにつ

いてワークショップを交え学びました。最終回の喜多教授の講義では、1994年に国が批准した国際条約である、「子どもの権利条約」の成り立ちと基本理念についてお話をいただき、一般に正しく理解されていないこの条約について、川崎市など「子どもの権利条約」を制定し、一市民として子どもが市政に参画している先進事例を取り上げ、その重要性について学びました。以下、受講された市民の方の感想を掲載します。

『天野さんの価値観と情動のお話も分かりやすく、今までモヤモヤしていた何かがスッキリしました。家庭で、社会で、子どものことを一番に考えていたはずのことが、実は子どもが自ら遊び、育くもうとする権利を奪っていたのだと知り、今後、私が何をし

ていくべきか、ほんの少しですが分かった気がしています。子どもが自分の命を守る力をもつて生きていけるような環境を作る・・・。プレイパークに行つて、童心に帰つて遊んでみたいと思いました。(40代女性)』



(天野秀昭氏)

『子どものもつ余暇、休息の権利や意見表明権をはじめて知りました。私たち大人が子どもについて語る前に、子どもたちがどんなことを感じ、想い、考えているか子どもの傍らに寄り添い、子どもたちの言つことに耳を傾けることが必要だと思いました。(50代男性)』

女性教育指導者研修 参加者募集

女性の視点での豊かな社会づくり、地域づくりが行われています。地域での温かな心の交流を図るとともに、地域

活性化のため、女性を中心とした自主的活動を行う団体活動や男女共同参画社会の在り方について学び、指導者としての資質の向上をめざすことを目的とした研修です。
この研修の参加者を募集します。

主催・会場
栃木県総合教育センター
期間
6月から9月(7回開催)
主に水曜日開催
研修時間
午前10時～午後4時
対象

市内において女性団体の指導的立場にある方、女性(婦人)学級・家庭教育学級・学習グループ等の指導的立場の方

募集締切
5月20日(火)
募集定員
2名

申込方法
所定の申込書を生涯学習課へ提出してください。

申し込み・問い合わせ先
生涯学習課(石橋庁舎2階)
☎52)1119